

経済成長下のジャワおよびバリ農村における世帯生計と自然資源利用の変動

研究者プロフィール

- ・地域総合学部 地域コミュニティ学科 准教授 遠藤 尚
- ・人文地理学，地域研究（東南アジア特にインドネシア）
- ・日本地理学会，人文地理学会，アジア政経学会，東北地理学会，東京地学協会
- ・主な経歴：
（公財）統計情報研究開発センター研究員（2008-2012），
高知大学教育学部（2012-2018）



研究内容

- ・インドネシアでは，1980年代後半以降，一時的な停滞はあるものの長期に渡って経済成長が続いている。そのような社会経済的な状況に伴う農村部の世帯生計や自然資源利用の変動について，対象地域における土地利用調査や住民に対する調査票を用いた聞き取り調査によって明らかにしている。
- ・主な対象地域は，西ジャワ州，およびバリ州。中部ジャワ州，タイ東北部，ラオスにおける調査経験も有する。



関連キーワード

世帯生計，自然資源利用，農村，経済成長，インドネシア，ジャワ，バリ

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

- ・県や市におけるインバウンド観光拡大に向けた取り組み，特に，インドネシア人に対するものについての情報提供，インバウンド観光先進地であるバリ島において相対的に条件不利地域である北部に関する情報提供や視察を伴うインバウンド需要掘り起こしに向けての比較調査の実施などの可能性が考えられる。
- ・後者については，現地大学との共同調査の可能性もある。

研究者への連絡先

産学連携推進センター

E-mail srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

電話 022-354-8122